

病棟名：6東病棟

病床数：40床

スタッフ人数：看護師長 1名・副看護師長 2名・看護師:22名
看護アシスタント 3名・看護事務アシスタント 1名
男性看護師：1名



部署の雰囲気：

6東病棟は、協力的でお互いに助け合い、わきあいあいとしている雰囲気があります。先生や理学療法士、作業療法士などの多職種の方とも、コミュニケーションをしっかりととり、情報共有を行いながら、患者さんに関わっているため、スタッフ同士仲が良く明るく活気のある病棟です。一人で判断が不安な時は、先輩看護師に相談し、アドバイスもくれるため安心して看護を提供できる体制になっていると思います。

部署の自慢できること：

肝臓内科、循環器内科、神経内科、総合診療科の混合病棟になっているため、様々な分野を学ぶことができ、自分のスキルアップにもつながるところです。また処置も多く様々な看護技術も学ぶことができます。循環器では、心不全や心筋梗塞後の生活指導も実施していますので、患者さんとより深く関わることができます。多職種とも連携していて、仲の良い病棟だと思います。現在はコロナ禍で実施できていませんが、以前は歓送迎会やビアガーデン、忘年会などでより仲を深めていました。そのためコミュニケーションもとりやすく、患者さんによりよい看護を提供することができていると思います。また先生たちも私たちの成長を見届けてくれてます。

スタッフからのメッセージ：

- ・診療科が多いため、様々な疾患や処置などを経験することができ、広い知識を問われますが、学ぶことが多いです。
- ・雰囲気は活気があり、何かあれば協力して助け合うことができる病棟です。
- ・先輩に相談しやすい環境だと思います。
- ・ぜひ、看護の楽しさを一緒に感じながら、働きましょう！！

師長(管理者)からのメッセージ：白井 美智子

モットー：看護師という職業に誇りを持ち、明るく前向きに柔軟に対応したいです。

6 東病棟は、肝臓内科 17 床、循環器内科 18 床、神経内科 3 床、総合診療科 2 床、合計 40 床の病棟です。

肝臓内科は、肝臓疾患の患者様が診断をつけるために検査を受けたり、検査結果で治療をするために入院される病棟です。検査は、短い場合は 2 日間の入院から、長い場合は 2 週間の入院と、入院期間は様々です。

また、平成 20 年から肝疾患診療連携拠点病院に指定され、平成 28 年から「肝炎無料採血」の活動を院外で行っています。2020 年度から、COVID-19 の関係で実施出来ていないですが…また状況が落ち着けば実施して行く予定です。

循環器内科は、心臓血管の検査や処置を担当しており、短い場合は 2 日、ペースメーカーなどの治療の場合は 1 週間～10 日の入院期間になっています。

また、心筋梗塞や心不全の患者様が、状態が落ち着きリハビリするために転棟してこられる病棟でもあります。

看護師とアシスタント、医師、リハビリスタッフなど多くの職種が関わりながら、チームで患者様を支えています。

また、看護師は、患者様が元気になるように優しく、時には厳しく(心筋梗塞後の生活指導や、脂肪肝の教育入院、リハビリなど)寄り添い、日々、一生懸命看護をしています。

時には、おしかりも受けづらいこともありますが、患者様の「ありがとう」の言葉に励まされながら頑張ることができています。

6 東は、肝臓内科、循環器内科、神経内科、総合診療科と様々な分野を学ぶことが出来る病棟だと思います。知識だけでなく、技術のスキルアップもできる病棟だと、皆感じています。

毎日のめまぐるしさにあっという間に 1 日が過ぎていき、本当に大変だなと感じる事も多い毎日ですがスタッフ皆で力を合わせ、患者様が元気になるように、日々頑張っています。

一緒に、その喜びを感じてみませんか？

